



元林整計第566号
令和2年2月12日

近畿中国森林管理局計画保全部長 殿

林野庁森林整備部長

「平成30年7月豪雨の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行
について」の期間延長について

広島県内における平成30年7月豪雨により被災した箇所の復旧・復興工事の本格化を踏まえ、円滑な施工の確保に万全を期すための対策として、「平成30年7月豪雨の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について」（令和元年8月9日付け元林整計第170号森林整備部長通知）により、1日当たり作業量の補正及び間接工事費の補正の試行を行ってきたところである。

上記通知による試行については、施工実態等を踏まえ、令和2年度も継続することとしたので、令和3年3月31日までに入札締切日を設定する工事に適用し、適切に対処されたい。

(担当：計画課施工技術班積算基準係 03-3502-8111 (内線6147))



元

近治第 48 号

令

元 8.13

和

近畿中国森林管理局

元林整計第170号
令和元年8月9日

近畿中国森林管理局計画保全部長 殿

林野庁森林整備部長

平成30年7月豪雨の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について

平成30年7月豪雨により被災した広島県内における復旧・復興工事の本格化を踏まえ、円滑な施工の確保に万全を期すための対策として、下記のとおり、当面の運用を定めたので、取扱いに遺漏なきよう措置されたい。

記

1. 適用対象工事

広島県内で実施される工事で、令和元年8月19日以降に契約締結を行う工事

2. 補正方法

(1) 土工に関する作業量の補正

【補正歩掛】 土工に関する作業量の補正

【補正内容】 標準作業量を20%低下する補正

別紙1「平成30年7月豪雨の被災地（広島県）で適用する森林整備保全事業標準歩掛」及び別紙2「平成30年7月豪雨の被災地（広島県）で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」による。

(2) 間接工事費の補正

【対象工事】 全て

【補正係数】 「森林整備保全事業設計積算要領」等により各工種区分に従って対象額毎に求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ次の補正係数を乗じるものとする。

共通仮設費：1.1 現場管理費：1.1

3. 適用にあたって

(1) 令和元年8月19日以降に入札手続きを開始する工事

当該補正を行って積算を行う工事であることを明記し、予定価格の算出にあたっては、本通知に基づき算出する。

(2) 令和元年8月19日時点において入札手続き中で未契約の工事

契約後、受注者に本通知の適用対象工事である旨を説明し、受注者が本通知に基づく変更を希望する場合は、次の変更契約手続きまでに変更契約を行う。

(3) 本通知は、令和2年3月31日までに入札締切日を設定する工事に適用する。

(担当：計画課施工技術班積算基準係)



補正後 平成30年7月豪雨の被災地（広島県）で適用する森林整備保全事業標準歩掛の補正										現行 森林整備保全事業標準歩掛の制定について（平成11年4月1日付け11林野計第133号林野庁長官通知）											
平成30年7月の被災地（広島県）で適用する森林整備保全事業標準歩掛										森林整備保全事業標準歩掛											
第1編 共通工										第1編 共通工											
1-3 機械土工（土砂）										1-3 機械土工（土砂）											
3 施工歩掛										3 施工歩掛											
(1) バックホウ掘削積込み（土砂）										(1) バックホウ掘削積込み（土砂）											
日当たり施工量は、次表を標準とする。										日当たり施工量は、次表を標準とする。											
表2. 4. 日当たり施工量										表2. 4. 日当たり施工量											
(1日当たり)										(1日当たり)											
作業種別	施工土量	制限の有無	名称	規格	土質名	単位	数量		作業種別	施工土量	制限の有無	名称	規格	土質名	単位	数量					
							障害なし	障害あり								障害なし	障害あり				
地山の掘削	10,000 m ³ 未満	あり	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	131	98	地山の掘削	10,000 m ³ 未満	あり	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	131	98				
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	98	65					標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	98	65				
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	228	170			標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）		砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	228	170	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	228	170
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	170	113			標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）		岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	170	113					
	10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	あり	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	154	115	地山の掘削	10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	あり	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	154	115				
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	115	76					標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	115	76				
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	267	200			標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）		砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	267	200	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	267	200
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	200	133			標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）		岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	200	133					
地山の掘削積込	10,000 m ³ 未満	あり	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>90</u>	<u>67</u>	地山の掘削積込	10,000 m ³ 未満	あり	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>112</u>	<u>84</u>				
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	<u>67</u>	<u>45</u>					標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	<u>84</u>	<u>56</u>				
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>156</u>	<u>117</u>			標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）		砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>195</u>	<u>146</u>	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>195</u>	<u>146</u>
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	<u>117</u>	<u>78</u>			標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）		岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	<u>146</u>	<u>97</u>					
	10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	あり	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>106</u>	<u>78</u>	地山の掘削積込	10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	あり	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>132</u>	<u>98</u>				
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	<u>78</u>	<u>53</u>					標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.45 m ³ （平積0.35 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	<u>98</u>	<u>66</u>				
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>183</u>	<u>137</u>			標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）		砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>229</u>	<u>171</u>	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>229</u>	<u>171</u>
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	<u>137</u>	<u>91</u>			標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）		岩塊・玉石・軟岩（I）A	m ³	<u>171</u>	<u>114</u>					

作業種別	施工土量	制限の有無	名称	規格	土質名	単位	数量	
							障害なし	障害あり
ルーズな状態の積込	10,000 m ³ 未満	あり	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	<u>98</u>	<u>75</u>
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	岩塊・玉石・破砕岩	m ³	<u>75</u>	<u>52</u>
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	<u>169</u>	<u>130</u>
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	岩塊・玉石・破砕岩	m ³	<u>130</u>	<u>90</u>
	10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	あり	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	<u>114</u>	<u>88</u>
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	岩塊・玉石・破砕岩	m ³	<u>88</u>	<u>61</u>
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	<u>198</u>	<u>152</u>
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	岩塊・玉石・破砕岩	m ³	<u>152</u>	<u>106</u>

(注) (略)

作業種別	施工土量	制限の有無	名称	規格	土質名	単位	数量	
							障害なし	障害あり
ルーズな状態の積込	10,000 m ³ 未満	あり	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	<u>122</u>	<u>94</u>
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	岩塊・玉石・破砕岩	m ³	<u>94</u>	<u>65</u>
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	<u>211</u>	<u>162</u>
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	岩塊・玉石・破砕岩	m ³	<u>162</u>	<u>113</u>
	10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	あり	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	<u>143</u>	<u>110</u>
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	岩塊・玉石・破砕岩	m ³	<u>110</u>	<u>76</u>
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	<u>248</u>	<u>190</u>
				標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	岩塊・玉石・破砕岩	m ³	<u>190</u>	<u>133</u>

(注) (略)

1-7 ホイールローダ掘削積込

2 ローダの作業能力

(1) (略)

(2) サイクルタイム (Cm)

土質にかかわらず (クローラローダ) . . . Cm = 58sec

土質にかかわらず (ホイールローダ) . . . Cm = 50sec

$$Cm = (m\theta + t_1 + t_2) / 0.8$$

(3) (略)

1-7 ホイールローダ掘削積込

2 ローダの作業能力

(1) (略)

(2) サイクルタイム (Cm)

土質にかかわらず (クローラローダ) . . . Cm = 46sec

土質にかかわらず (ホイールローダ) . . . Cm = 40sec

$$Cm = m\theta + t_1 + t_2$$

(3) (略)

1-8 盛土

(2) 機種別の作業量

表1.2 機種別の作業量

工種	区分	標準機種		V (m/h)	W (m)	D (m)	N	E	Q (m³/h)	A (m²)
		機械名	規格							
敷ならし	路体 路床	ブルドーザ	11t級	—	—	0.3	—	0.6	54	—
			15t級	—	—	0.3	—	0.6	62	—
			21t級	—	—	0.3	—	0.6	88	—
締固め	路体	ブルドーザ	11t級	3,500	0.7	0.3	5	0.6	71	235
			15t級	3,500	0.8	0.3	5	0.6	81	269
			21t級	3,500	0.9	0.3	4	0.6	113	378
	路床	ブルドーザ	15t級	3,500	0.8	0.2	7	0.6	38	192
			21t級	3,500	0.9	0.2	6	0.6	50	252
			タイヤローラ	8~20t	3,500	1.8	0.2	7	0.4	58

(注) 本表は、路体及び路床の敷均し及び締固めに適用する。

(3) 敷均し作業量の算定

① ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は次のとおりとする。

- 11t級ブルドーザの場合
 $Q = 0.8 \times 10E (11D + 8) \text{ (m}^3/\text{h)}$
 15t級ブルドーザの場合
 $Q = 0.8 \times 10E (13D + 9) \text{ (m}^3/\text{h)}$
 21t級ブルドーザの場合
 $Q = 0.8 \times 10E (18D + 13) \text{ (m}^3/\text{h)}$

ここで
 Q：1時間当たり敷均し土量(m³/h)
 締固め後の状態の土量をいう。
 D：仕上がり厚さ(m)
 締固め後の状態の厚さをいう。
 E：作業効率

表1.3 作業効率

工種	路体・築堤・路床		
	良好	普通	不良
ブルドーザ	0.8	0.6	0.4
タイヤローラ	0.6	0.4	0.2

② 敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する

表1.4 敷均し補助労力 (人/100 m³)

作業	工種	普通作業員
敷均し	築堤	0.25
	路体	0.25
	路床	0.38

(4) 締固め作業量の算定

① ブルドーザ1時間当たり締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。

- 作業量を締固め土量(m³/h)で表す場合
 $Q = 0.8 \times \frac{V \times W \times D \times E}{N} \text{ (m}^3/\text{h)}$
 作業量を締固め面積(m²/h)で表す場合
 $A = 0.8 \times \frac{V \times W \times E}{N} \text{ (m}^2/\text{h)}$

1-8 盛土

(2) 機種別の作業量

表1.2 機種別の作業量

工種	区分	標準機種		V (m/h)	W (m)	D (m)	N	E	Q (m³/h)	A (m²)
		機械名	規格							
敷ならし	路体 路床	ブルドーザ	11t級	—	—	0.3	—	0.6	68	—
			15t級	—	—	0.3	—	0.6	77	—
			21t級	—	—	0.3	—	0.6	110	—
締固め	路体	ブルドーザ	11t級	3,500	0.7	0.3	5	0.6	88	294
			15t級	3,500	0.8	0.3	5	0.6	101	336
			21t級	3,500	0.9	0.3	4	0.6	142	473
	路床	ブルドーザ	15t級	3,500	0.8	0.2	7	0.6	48	240
			21t級	3,500	0.9	0.2	6	0.6	63	315
			タイヤローラ	8~20t	3,500	1.8	0.2	7	0.4	72

(注) 本表は、路体及び路床の敷均し及び締固めに適用する。

(3) 敷均し作業量の算定

① ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は次のとおりとする。

- 11t級ブルドーザの場合
 $Q = 10E (11D + 8) \text{ (m}^3/\text{h)}$
 15t級ブルドーザの場合
 $Q = 10E (13D + 9) \text{ (m}^3/\text{h)}$
 21t級ブルドーザの場合
 $Q = 10E (18D + 13) \text{ (m}^3/\text{h)}$

ここで
 Q：1時間当たり敷均し土量(m³/h)
 締固め後の状態の土量をいう。
 D：仕上がり厚さ(m)
 締固め後の状態の厚さをいう。
 E：作業効率

表1.3 作業効率

工種	路体・築堤・路床		
	良好	普通	不良
ブルドーザ	0.8	0.6	0.4
タイヤローラ	0.6	0.4	0.2

② 敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する

表1.4 敷均し補助労力 (人/100 m³)

作業	工種	普通作業員
敷均し	築堤	0.2
	路体	0.2
	路床	0.3

(4) 締固め作業量の算定

① ブルドーザ1時間当たり締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。

- 作業量を締固め土量(m³/h)で表す場合
 $Q = \frac{V \times W \times D \times E}{N} \text{ (m}^3/\text{h)}$
 作業量を締固め面積(m²/h)で表す場合
 $A = \frac{V \times W \times E}{N} \text{ (m}^2/\text{h)}$

ここで
 Q：運転1時間当たり作業量(m³/h)
 A： " 作業面積(m²/h)
 V：締固め速度(m/h)
 W：1回の有効締固め幅(m)
 D：仕上がり厚さ 次表、仕上がり厚さと締固め回数による。
 N：締固め回数

表1.5 仕上がり厚さと締固め回数

工種	仕上がり厚さ (m) D	締固め機械	締固め 回数N	適用
路体・ 築堤	0.3	ブルドーザ(15t級又は11t級) 又は タイヤローラ(8~20t級)	5	仕上がり厚さは、締固めた状態の厚さをいう。 締固め回数は同一点を主荷重輪が通過した回数をいう。
		ブルドーザ(21t級)	4	

E：作業効率 0.4~0.8 (標準値 0.6)

(5) ブルドーザで敷均し締固め作業の作業量の算定

ブルドーザで敷均し作業を行いながら、ブルドーザで締固め作業を行う場合の、機械運転1時間当たりの作業量の算定式は、次のとおりとする。

$$Q = \frac{Q_1 \times Q_2}{Q_1 + Q_2} \quad (\text{m}^3/\text{h})$$

Q：運転1時間当たり敷均し締固め作業量 (m³/h)
 Q₁： " 締固め作業量 (m³/h)
 Q₂： " 敷均し作業量 (m³/h)

機械による敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する。

機械補助労務 (人/100 m³)

作業	工種	普通作業員
敷均し	築堤	0.25
	路体	
	路床	0.38

ブルドーザ敷均し締固め1時間当たり作業量 (m³/h)

規格	11t級	15t級	21t級	備考
区分	締固め作業 (Q)(0.3m)	締固め作業 (Q)(0.3m)	締固め作業 (Q)(0.3m)	
敷均し締固め 合成作業	31	35	50	

ここで
 Q：運転1時間当たり作業量(m³/h)
 A： " 作業面積(m²/h)
 V：締固め速度(m/h)
 W：1回の有効締固め幅(m)
 D：仕上がり厚さ 次表、仕上がり厚さと締固め回数による。
 N：締固め回数

表1.5 仕上がり厚さと締固め回数

工種	仕上がり厚さ (m) D	締固め機械	締固め 回数N	適用
路体・ 築堤	0.3	ブルドーザ(15t級又は11t級) 又は タイヤローラ(8~20t級)	5	仕上がり厚さは、締固めた状態の厚さをいう。 締固め回数は同一点を主荷重輪が通過した回数をいう。
		ブルドーザ(21t級)	4	

E：作業効率 0.4~0.8 (標準値 0.6)

(5) ブルドーザで敷均し締固め作業の作業量の算定

ブルドーザで敷均し作業を行いながら、ブルドーザで締固め作業を行う場合の、機械運転1時間当たりの作業量の算定式は、次のとおりとする。

$$Q = \frac{Q_1 \times Q_2}{Q_1 + Q_2} \quad (\text{m}^3/\text{h})$$

Q：運転1時間当たり敷均し締固め作業量 (m³/h)
 Q₁： " 締固め作業量 (m³/h)
 Q₂： " 敷均し作業量 (m³/h)

機械による敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する。

機械補助労務 (人/100 m³)

作業	工種	普通作業員
敷均し	築堤	0.2
	路体	
	路床	0.3

ブルドーザ敷均し締固め1時間当たり作業量 (m³/h)

規格	11t級	15t級	21t級	備考
区分	締固め作業 (Q)(0.3m)	締固め作業 (Q)(0.3m)	締固め作業 (Q)(0.3m)	
敷均し締固め 合成作業	38	44	62	

1-9-1 盛土（ブルドーザ敷均し）（狭幅）

3 施工歩掛

3 t 級ブルドーザによる敷均しの日当たり施工量は、次表を標準とする。

表 3.1 日当たり施工量（1日当たり）

機種名	規 格	単 位	施工量
ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値）普通3 t 級	m ³	<u>104</u>

4 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表 4.1 機械補助労務（人/100 m³当たり）

名称	単 位	数 量
普通作業員	m ³	<u>0.38</u>

1-9-2 振動ローラ締固め（狭幅）

2 施工歩掛

各作業の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 2. 1 日当たり施工量（1日当たり施工量）

工種	規 格	単 位	数 量
路床	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	m ³	<u>62</u>
	ハンドガイト式 0.8~1.1 t	〃	<u>34</u>
路体 築堤	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	〃	<u>69</u>
	ハンドガイト式 0.8~1.1 t	〃	<u>40</u>
埋戻	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	〃	<u>69</u>
	ハンドガイト式 0.8~1.1 t	〃	<u>40</u>

1-9-1 盛土（ブルドーザ敷均し）（狭幅）

3 施工歩掛

3 t 級ブルドーザによる敷均しの日当たり施工量は、次表を標準とする。

表 3.1 日当たり施工量（1日当たり）

機種名	規 格	単 位	施工量
ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値）普通3 t 級	m ³	<u>130</u>

4 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表 4.1 機械補助労務（人/100 m³当たり）

名称	単 位	数 量
普通作業員	m ³	<u>0.3</u>

1-9-2 振動ローラ締固め（狭幅）

2 施工歩掛

各作業の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 2. 1 日当たり施工量（1日当たり施工量）

工種	規 格	単 位	数 量
路床	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	m ³	<u>78</u>
	ハンドガイト式 0.8~1.1 t	〃	<u>43</u>
路体 築堤	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	〃	<u>86</u>
	ハンドガイト式 0.8~1.1 t	〃	<u>50</u>
埋戻	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	〃	<u>86</u>
	ハンドガイト式 0.8~1.1 t	〃	<u>50</u>

第2編 治山
第1山地治山土工
1-1機械土工
4 施工歩掛
(1) バックホウの日当り作業量

バックホウによる各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。

表3.3 日当たり施工量 (1日当たり)

作業種別	制限の有無	山地治山工区分	工種区分	名称	規格	土質名	単位	数量	
								障害なし	障害あり
地山の掘削	あり	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低損音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45m³(平積0.35m³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	97	67
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	77	48
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	67	48
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	48	39
		B	溪間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	110	77
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	86	58
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	77	58
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	58	48
	なし	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低損音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8m³(平積0.6m³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	170	120
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	130	84
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	120	84
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	84	67
		B	溪間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	180	130
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	150	100
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	130	100
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	100	84

第2編 治山
第1山地治山土工
1-1機械土工
4 施工歩掛
(1) バックホウの日当り作業量

バックホウによる各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。

表3.3 日当たり施工量 (1日当たり)

作業種別	制限の有無	山地治山工区分	工種区分	名称	規格	土質名	単位	数量	
								障害なし	障害あり
地山の掘削・積込	あり	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低損音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45m³(平積0.35m³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	97	67
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	77	48
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	67	48
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	48	39
		B	溪間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	110	77
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	86	58
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	77	58
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	58	48
	なし	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低損音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8m³(平積0.6m³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	170	120
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	130	84
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	120	84
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	84	67
		B	溪間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	180	130
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	150	100
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m³	130	100
						岩塊・玉石・軟岩(I)A	m³	100	84

作業種別	制限の有無	山地治山工区分	工種区分	名称	規格	土質名	単位	数量	
								障害なし	障害あり
地山の積込	あり	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	78	54
			岩塊・玉石・軟岩(I)A			m ³	62	38	
			砂・砂質土・粘性土・礫質土			m ³	54	38	
			岩塊・玉石・軟岩(I)A			m ³	38	31	
		砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³			88	62		
		岩塊・玉石・軟岩(I)A	m ³			69	46		
		砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³			62	46		
		岩塊・玉石・軟岩(I)A	m ³			46	38		
	なし	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	136	96
			岩塊・玉石・軟岩(I)A			m ³	104	67	
			砂・砂質土・粘性土・礫質土			m ³	96	67	
			岩塊・玉石・軟岩(I)A			m ³	67	54	
		砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³			144	104		
		岩塊・玉石・軟岩(I)A	m ³			120	80		
B	溪間工	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	104	80				
	山腹工	岩塊・玉石・軟岩(I)A	m ³	80	67				

(新設)

作業種別	制限の有無	山地治山工区分	工種区分	名称	規格	土質名	単位	数量	
								障害なし	障害あり
ルーズな状態の積込	あり	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低損音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	88	62
						岩塊・玉石	m ³	69	46
						破碎岩	m ³	54	31
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	62	46
						岩塊・玉石	m ³	46	38
						破碎岩	m ³	31	22
		B	溪間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	96	69
						岩塊・玉石	m ³	78	54
						破碎岩	m ³	62	38
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	69	54
						岩塊・玉石	m ³	54	46
						破碎岩	m ³	38	31
	なし	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	144	104
						岩塊・玉石	m ³	120	80
						破碎岩	m ³	96	54
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	104	80
						岩塊・玉石	m ³	80	67
						破碎岩	m ³	54	40
		B	溪間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	160	120
						岩塊・玉石	m ³	136	96
						破碎岩	m ³	104	67
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	120	96
						岩塊・玉石	m ³	96	80
						破碎岩	m ³	67	54

(注) (略)

作業種別	制限の有無	山地治山工区分	工種区分	名称	規格	土質名	単位	数量	
								障害なし	障害あり
ルーズな状態の積込	あり	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低損音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	110	77
						岩塊・玉石	m ³	86	58
						破碎岩	m ³	67	39
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	77	58
						岩塊・玉石	m ³	58	48
						破碎岩	m ³	39	28
		B	溪間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	120	86
						岩塊・玉石	m ³	97	67
						破碎岩	m ³	77	48
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	86	67
						岩塊・玉石	m ³	67	58
						破碎岩	m ³	48	39
	なし	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	180	130
						岩塊・玉石	m ³	150	100
						破碎岩	m ³	120	67
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	130	100
						岩塊・玉石	m ³	100	84
						破碎岩	m ³	67	50
		B	溪間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	200	150
						岩塊・玉石	m ³	170	120
						破碎岩	m ³	130	84
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m ³	150	120
						岩塊・玉石	m ³	120	100
						破碎岩	m ³	84	67

(注) (略)

附 則

この通知は、令和元年8月19日から適用する。

(別紙2)

令和元年度

平成30年7月豪雨の被災地(広島県)で適用 する施工パッケージ型積算方式標準単価表

(令和元年8月19日以降契約締結を行う工事から適用)

林野庁

IV. 平成30年7月豪雨の被災地(広島県)で適用する施工パッケージ 標準単価 一覧

No.	施工パッケージ名称	ページ	参考:施工パッケージ型積算基準				備考
			編	章	項	施工パッケージ型積算基準	
001	掘削	001-1~4	I	1	②	土工	
002	整地	002-1	I	1	②	土工	
003	路体(築堤)盛土	003-1	I	1	②	土工	
004	路床盛土	004-1	I	1	②	土工	
005	積込(ルーズ)	005-1	I	1	②	土工	
006	積込(コンクリート殻)	006-1	I	2	⑱	構造物とりこわし工	

No.003 【 路体（築堤）盛土 】

< 積算単位：m³ >

条件区分			標準単価	機劣材構成比												代表機劣材規格												備考											
施工幅員	施工数量	障害の有無		K				R				Z				S				K (*印:賃料)				R					Z				S						
				K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4													
2.5m未満	-	-	5,498.7	1.02	1.02	-	-	98.72	88.18	10.54	-	-	0.26	0.26	-	-	-	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.8~1.1t	*	-	-	-	-	-	-	普通作業員	特殊作業員	-	-	-	-	軽油 1. 2号 バトロール給油	-	-	-	-	-	被災地補正対象	
2.5m以上4.0m未満	-	-	885.77	19.51	10.71	8.80	-	72.80	64.14	8.66	-	-	7.69	7.69	-	-	-	バックホウ (クローラ 型) [後方超小振回 型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山 積0.28m ³ (平積0.2m ³)	*	振動ローラ (舗装用) [格乗・コンバインド 式・排出ガス対策型(第 3次基準値)] 質量3 ~4t	*	-	-	-	-	-	運転手 (特殊)	普通作業員	-	-	-	-	軽油 1. 2号 バトロール給油	-	-	-	-	-	被災地補正対象
4.0m以上	10,000m ³ 未満	無し	242.56	22.32	12.72	9.60	-	64.46	43.65	20.81	-	-	13.22	13.22	-	-	-	ブルドーザ [湿地・排 出ガス対策型 (第3次 基準値)] 7t級	*	振動ローラ (土工用) [フラット・シングル ドラム型・排出ガス対 策型 (第3次基準 値)] 質量11~12t	*	-	-	-	-	運転手 (特殊)	普通作業員	-	-	-	-	軽油 1. 2号 バトロール給油	-	-	-	-	-	被災地補正対象	
4.0m以上	10,000m ³ 未満	有り	459.20	25.69	13.09	12.60	-	59.22	48.23	10.99	-	-	15.09	15.09	-	-	-	ブルドーザ [湿地・排 出ガス対策型 (第3次 基準値)] 7t級	*	振動ローラ (土工用) [フラット・シングル ドラム型・排出ガス対 策型 (第3次基準 値)] 質量11~12t	*	-	-	-	-	運転手 (特殊)	普通作業員	-	-	-	-	軽油 1. 2号 バトロール給油	-	-	-	-	-	被災地補正対象	
4.0m以上	10,000m ³ 以上	無し	240.57	29.93	20.25	9.68	-	54.85	33.86	20.99	-	-	15.22	15.22	-	-	-	ブルドーザ [湿地・排 出ガス対策型 (第3次 基準値)] 16t級	*	振動ローラ (土工用) [フラット・シングル ドラム型・排出ガス対 策型 (第3次基準 値)] 質量11~12t	*	-	-	-	-	運転手 (特殊)	普通作業員	-	-	-	-	軽油 1. 2号 バトロール給油	-	-	-	-	-	被災地補正対象	
4.0m以上	10,000m ³ 以上	有り	430.01	33.23	19.77	13.46	-	49.72	37.98	11.74	-	-	17.05	17.05	-	-	-	ブルドーザ [湿地・排 出ガス対策型 (第3次 基準値)] 16t級	*	振動ローラ (土工用) [フラット・シングル ドラム型・排出ガス対 策型 (第3次基準 値)] 質量11~12t	*	-	-	-	-	運転手 (特殊)	普通作業員	-	-	-	-	軽油 1. 2号 バトロール給油	-	-	-	-	-	被災地補正対象	

No.004【 路床盛土 】
 < 積算単位：m³ >

条件区分				機劣材構成比														代表機劣材規格											備考				
施工幅員	施工数量	障害の有無	標準単価	K				R				Z				S	K (*印：資料)			R				Z				S					
				K1	K2	K3		R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4		K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4						
2.5m未満	-	-	5,613.5	1.17	1.17	-	-	98.53	86.38	12.15	-	-	0.30	0.30	-	-	-	振動ローラ (舗装用) 【ハンドガイド式】 質量0.8~1.1t	*	-	-	普通作業員	特殊作業員	-	-	軽油 1.2号 バトロール給油	-	-	-	-	-	被災地補正対象	
2.5m以上 4.0m未満	-	-	934.51	19.43	10.15	9.28	-	73.01	64.80	8.21	-	-	7.56	7.56	-	-	-	バックホウ (クローラ型) 【後分岐小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	*	振動ローラ (舗装用) 【格条・コンパイド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)】 質量3~4t	*	-	-	運転手 (特殊)	普通作業員	-	-	軽油 1.2号 バトロール給油	-	-	-	-	被災地補正対象
4.0m以上	10,000m ³ 未満	無し	373.24	23.29	12.38	10.91	-	63.10	42.54	20.56	-	-	13.61	13.61	-	-	-	振動ローラ (土工用) 【フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)】 質量11~12t	*	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 7t級	*	-	-	運転手 (特殊)	普通作業員	-	-	軽油 1.2号 バトロール給油	-	-	-	-	被災地補正対象
4.0m以上	10,000m ³ 未満	有り	849.56	28.39	19.44	8.95	-	55.37	46.34	9.03	-	-	16.24	16.24	-	-	-	振動ローラ (土工用) 【フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)】 質量11~12t	*	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 7t級	*	-	-	運転手 (特殊)	普通作業員	-	-	軽油 1.2号 バトロール給油	-	-	-	-	被災地補正対象
4.0m以上	10,000m ³ 以上	無し	366.93	29.73	17.13	12.60	-	54.98	34.07	20.91	-	-	15.29	15.29	-	-	-	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 16t級	*	振動ローラ (土工用) 【フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)】 質量11~12t	*	-	-	運転手 (特殊)	普通作業員	-	-	軽油 1.2号 バトロール給油	-	-	-	-	被災地補正対象
4.0m以上	10,000m ³ 以上	有り	807.09	33.53	20.46	13.07	-	48.87	39.36	9.51	-	-	17.60	17.60	-	-	-	振動ローラ (土工用) 【フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)】 質量11~12t	*	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 16t級	*	-	-	運転手 (特殊)	普通作業員	-	-	軽油 1.2号 バトロール給油	-	-	-	-	被災地補正対象

No. 006 【 積込（コンクリート殻） 】

< 積算単位：m³ >

条件区分	標準単価	機材構成比														代表機材規格											備考				
		K				R				Z				S	K（*印：賃料）			R				Z				S					
		K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	K1		K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4							
-	1,090.1	11.18	11.18	-	-	84.18	74.15	10.03	-	-	4.64	4.64	-	-	-	-	バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（第1次基準型）】 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	-	-	-	普通作業員	運転手（特殊）	-	-	軽油 1、2号 バトルール給油	-	-	-	-	-	被災地補正対象